

## 平成 30 年 11 月 15 日 経済・港湾委員会(中央卸売市場)

○小林委員 それでは、私からは、築地市場並びに豊洲市場についてお伺いをさせていただきます。

平成二十八年八月三十一日に、小池知事が豊洲市場の開場延期を発表し、その後、九月二十七日の経済・港湾委員会において、当時の市場長より、豊洲市場用地の土壌汚染対策について、主要な建物下に盛り土がなされていなかったことについておわびがありました。

私は当時、経済・港湾委員会に所属しておりまして、以来、豊洲市場移転問題特別委員会、豊洲市場移転問題に関する調査特別委員会にも身を置きまして、この問題の議論にかかわらせていただきました。

さまざまな困難を乗り越えて、本年十月十一日、豊洲市場が開場されましたことが、この開場という新たな歴史の節目に当たって、再びこの経済・港湾委員会に所属させていただいたことに感慨深いものがございます。

きょうは、過去の議論、都議会公明党の主張、また都民の方から寄せられた声も踏まえて、改めて確認の質問をさせていただきたいと思います。

初めに、築地市場の解体に伴う諸課題についてお伺いいたします。

まず、工事車両についてですが、築地市場の解体に当たっては当然のことながら、大規模な工事となるため、近隣への影響を最小限にしていかなければなりません。

晴海通り、新大橋通りだけでなく、路地などの生活道路への影響、そして一般車両が迂回するという影響もありますけれども、工事車両はどの程度発生し、どのような対応をするのか、まずお伺いをいたします。

○渡辺施設担当部長 築地の解体工事においては、工事車両の主な出入り口である新大橋通り及び晴海通りに加えて、先日開通した環状第二号線暫定迂回道路も一部活用しております。

工事現場への入場を待つ車両が路上に待機することがないように、工区別に出入り口を分散させるとともに、車両を速やかに現場内に誘導し、地域交通に影響がないよう配慮しております。

また、ゲートには交通誘導員を複数配置し、近隣の方々や観光客などの歩行者などの安全性を確保しております。

搬出車両につきましては、コンクリートがらなどの発生等により、一日当たり最大約百五十台程度と見込んでおります。

なお、コンクリートがらを場内で再利用することに加えて、海上輸送を活用し、ピーク時の車両台数を抑制する予定でございます。

○小林委員 次に、解体工事のアスベスト対策についてですが、築地市場解体工事では、水産立体駐車場などで吹きつけられた有害物質であるアスベストの飛散の可能性も指摘されておりますが、影響がないように、どのような対応をされているのか、お伺いをいたします。

○渡辺施設担当部長 築地市場におけるアスベストは、青果部屋上駐車場や水産物部立体駐車場の吹きつけ材に使用されているほか、水産物部仲卸売場の屋根材に含まれるなど、解体する百五十五棟のうち、五十五棟の建物で使用を確認しております。

アスベストの除去に当たっては、事前調査の内容に加え、天井裏など、隠れた箇所についても、施工の段階に応じ調査を実施し、その結果を踏まえ、関係部署等と協議しながら作業を進めてまいります。

作業の実施に当たっては、アスベスト除去に関する技術審査証明書を取得している業者を選定するなど、施工技術レベルを確保するとともに、法令等に基づき、例えば、吹きつけアスベストについては工事区画を密閉するなど、アスベストの飛散が生じないよう厳重な対策を講じてまいります。

また、作業エリアの適切な位置で、数日ごとに空気測定を行うなど、安全管理を行ってまいります。

○**小林委員** 次に、先ほども触れられておりましたが、ネズミ対策についてですが、報道等でも大きく取り上げられておりますので、築地市場解体に伴う最大の懸案の一つでもあるかと思いますが、都として、築地市場外にネズミが拡散しないよう、どのような駆除対策を講じてきたのか、また、今後、万が一、場外市場や近隣住宅にネズミが拡散したようなことがあった場合に、都として、どう対策をとっていくのか、見解をお伺いいたします。

○**渡辺施設担当部長** 閉場に伴うネズミ対策といたしまして、外部への流出経路を遮断するとともに、生息数を減らすために、徹底的な駆除を行いました。

流出防止策では、市場外周部に波板、金網、金属ブラシなどを設置するとともに、外周部対策では敷地境界内側に捕獲かごを仕掛け、十月までで八十六匹を捕獲、駆除しております。

また、生息数を減らす取り組みとして、粘着シートや殺鼠剤などによる一斉駆除を行ったところでございます。

その結果、閉場前の五月、八月、九月の連休を利用した駆除では千七百七十三匹、閉場後の十月十一日から月末までの期間では千二百三十九匹を駆除しております。

なお、これまで周辺住民からの特段の苦情等はいただいております。

○**小林委員** この築地市場、八十年を超える歴史ある市場でもありますので、また、地元区の協力のもと栄えてきた市場でもあります。

解体工事の実施に当たっては、地元の声を丁寧に聞きながら情報発信して工事を進めていくべきであると思いますが、今後の都の取り組みについてお伺いをいたします。

○**渡辺施設担当部長** 築地市場の解体は、都心で非常に大規模な工事であり、工事前の説明会などにおいては、できるだけわかりやすい資料を用いるなど、地元住民の理解を得られるように努めてまいりました。

豊洲市場が開場した十月十一日から工事に着手しておりまして、法令に基づく対策に加え、工事車両の抑制など、さまざまな配慮策を講じるほか、適切な情報提供を継続することが重要と認識しております。

周知看板やホームページを活用するなど、中央区と連携しながら、丁寧な情報発信を行うとともに、工事現場出入り口の交通安全、現場内の安全管理に万全を期し、着実に工事を進めてまいります。

○**小林委員** この築地市場の課題などについては、私たちも地元の区議会議員とも連携して意見交換をしておりますが、地元の区議会議員からは、築地市場の解体における交通渋滞の問題やネズミの問題など、築地場外も含めて、地域が風評被害を受けないよう取り組んでもらうことが大切であり、引き続き対策を充実させていただくとともに、迅速的確な地元への情報発信をお願いしたいという要望もありましたので、くれぐれもよろしくお願いをしたいと思います。

次に、豊洲市場について伺います。

さきの第三回定例会の都議会公明党の代表質問でも触れましたが、今後の豊洲市場の安全・安心対策の一つとして欠かせないのが、地下水管理システムの機能を十分に発揮していくことであります。

開場に向けて取り組まれた地下水管理システムの追加対策工事の内容と実施目的について確認をさせていただきます。

○**佐々木環境改善担当部長** 地下水管理システムの追加対策工事は、専門家会議の提言を踏まえ、豊洲市場用地における地下水位を早期に低下させるとともに、地下水位上昇時の揚水機能強化を図るために実施したものでございます。

具体的には、建物下への揚水井戸の設置、旧観測井戸の揚水井戸化及び真空ポンプによる揚水などを実施し、本年七月に完成させたところでございます。

○**小林委員** この追加対策工事後、地下水管理システムの機能強化、どのように図られたのか、また、現在の稼働状況について伺いいたします。

○**佐々木環境改善担当部長** 本年七月三十日の専門家会議による追加対策の有効性の確認において、地下水管理システムの機能強化については、全体として地下水位の低下が促進されている状況が認められるとともに、地下水の揚水能力が強化され、想定していた揚水能力が確保されていることを確認していただきました。

また、今月七日に行った地下水位の測定結果によりますと、各街区とも、平均でAPプラス二メートルを下回っており、全体ではAPプラス一・八メートルを下回っております。

さらに、九月末には、一日当たりの排水量が五百立方メートルを超えるなど、工事完了後も地下水管理システムが順調に稼働しており、追加対策工事前に比べて、確実に機能強化が図られているものと認識しております。

○**小林委員** 地下水管理システムについては、過去にもさまざまな議論がありましたが、今後しっかりと揚水能力を確保し、豊洲市場の安全が確保されるよう万全の管理をお願いしたいと思います。

また、都民に豊洲市場の安全性を理解してもらい、安心につなげていくためには、都民に向けた正しい情報発信が極めて重要であります。誇大な情報、誤った情報によるあらぬ風評被害を起こすことは断じて防がなければなりません。

そのために、都議会公明党が繰り返し繰り返し主張してきたのが、時々刻々と変化する市場の大気や地下水の状況の数値をわかりやすく見えるようにして、都民に向けて情報発信をしていく見える化の取り組みであります。

開場後も、水質調査や空気調査の結果をわかりやすく伝える見える化の取り組みはしっかりと継続をし、都民の安心につなげていくべきと考えますが、見解をお伺いいたします。

○佐々木環境改善担当部長 七月三十日の専門家会議による追加対策工事の有効性の確認結果公表の際に、市場開場後の空気や地下水質調査の実施内容についても公表しております。

具体的には、当面の間、これまでと同様に、空気については地上部と建物一階部分、地下ピット部を合わせて十七カ所で、また、地下水質については四十六カ所で実施していくこととし、専門家会議からも、これらの内容については妥当であり、確実に実施していくことが重要であるとの評価をいただいております。

また、空気や地下水質の調査結果は、これまで専門家会議に評価いただいた上で公表しておりますが、同じく七月三十日に平田座長からも説明があったとおり、今後は、土壤汚染対策工事と地下水管理に関する協議会に引き継いでいくこととしております。

都としては、追加対策により、豊洲市場のさらなる安全性の向上が図られたものと認識しており、今後は、管理を適切に実施するとともに、引き続き正しい情報発信を行っていくことで、豊洲市場を安全・安心な市場として運営してまいります。

○小林委員 次に、開場後にあらわになった課題の一つでございますけれども、開場当初は近隣道路の大変な渋滞が報道等でも指摘されておりましたが、実際の渋滞状況、どのようなものであったのか、お伺いをいたします。

○鈴木技術調整担当部長 豊洲市場の開場初日でございますが、通常より荷の取扱量が多かったことに加えまして、産地からの搬入や買い出し等に來たトラックが新しい市場施設にふなれであったため、本来行く必要のない上層階へ流入したこと、指定された荷さばき場所以外の場所におきまして荷おろし等が行われたことにより、場内の車両動線がふさがれたことなど、さまざまな要因によって場内の車両が滞留し、その影響が周辺道路にも及んで交通渋滞を発生することとなりました。

なお、開場二日目以降でございますが、こうした要因は解消されておりまして、場内においても、周辺道路におきまして、目立った交通渋滞は発生しておりません。

○小林委員 環状二号線については、豊洲から築地までの約二・八キロメートルの区間については、本線開通に先立って、十一月四日に暫定開通されましたが、こうした暫定開通によって、周辺の道路の状況、変わってきたと思いますが、都の渋滞対策の取り組みについてお伺いをいたします。

○鈴木技術調整担当部長 都では、豊洲市場周辺におけます円滑な交通を実現するため、さまざまな取り組みを行ってまいりました。

まず、開場前の取り組みといたしまして、市場周辺の交差点の通行について交通管理者と協議を行うとともに、渋滞が予測される道路で実施される路上工事の抑制をお願いいたしました。

また、市場業者に対しましては、渋滞防止に向けて、通行すべき推奨ルートなどを示したリーフレットを作成し、その周知を図りました。



あわせまして、少しでも車両交通を分散化させるため、関係各局の協力を得て、未供用でございました環状第二号線の豊洲から晴海までの区間を、市場開場と同時に市場関係車両が利用できることといたしました。

次に、開場当日以降でございますが、交通管理者と連携を図り、渋滞抑制に向けて、道路上に注意喚起を図る看板の掲示や、場内放送によります市場出口の誘導を行ったほか、市場周辺道路に職員を配置いたしまして、横断歩行者の安全確保と円滑な車両の通行が行われるよう、監視、誘導を実施いたしました。

先ほど答弁したような要因に加えまして、これらの取り組みを実施することによりまして、市場開場に伴います渋滞防止が図られたものと認識しております。

○**小林委員** 次に、事業者への支援についてですが、豊洲市場への移転延期後、都議会公明党が真っ先に都に求めた一つに、事業者への支援策があります。市場関係者への具体的な相談の受け付けや不安を解消する取り組みの充実を求めたのに対し、中央卸売市場と産業労働局との連携で特別相談窓口も設置されたわけですが、開場になったとはいえ、事業者の皆さんに憂いなく仕事をしていただき、軌道に乗せていく取り組みが引き続き重要であります。

開場後も、事業者からは支援を求める声が多数寄せられておりますが、市場業者への支援について、都の見解をお伺いいたします。

○**赤木移転支援担当部長** これまで都は、築地市場内にサポート相談室を設置し、移転に伴う市場業者の経営上の不安の解消を図りますとともに、各種の融資事業や利子補給事業、環境・省エネ設備補助事業などを実施しまして、市場業者の円滑な移転に向けた支援を行ってまいりました。

市場業者からは、移転後の経営環境の変化への対応や、新たな事業展開への支援を求めるさまざまな声が寄せられております。

こうした声を踏まえまして、現在、業界団体と意見交換を行い、市場業者の経営安定化や、豊洲市場の活性化に資する支援策の策定について検討を行っております。

○**小林委員** 次に、豊洲市場の使い勝手についてお伺いをいたします。

市場の使い勝手についても、さまざま私どももご意見をいただいておりますが、先ほど山崎副委員長も触れられましたが、開場直後より、私も地元の魚屋さんより、市場に買い出しに行った際の駐車場が少なくて困っているとの声を直接いただきました。

駐車場が少ないというこうした声に対し、都として駐車場確保に向けてどのように取り組んできたのかを改めて確認させていただきます。

○**前田豊洲市場事業調整担当部長** 豊洲市場では、築地市場より約五百台多い、約五千百台の駐車場を整備しております。

一方で、業界団体から、通勤駐車場や積み込み場に関する懸念や要望等もいただいたことから、都としては、通勤駐車場不足への対応として、豊洲市場周辺に約九千平米の用地を確保し、利用いたしております。

また、積み込み場の不足に対しては、駐車場の使用許可を受けて管理を行う街区協議会と調整し、業界要望を踏まえた時間貸し駐車場を整備いたしました。

さらに、開場当初における場内物流の一時的混乱の抑制や、市場外での車両の滞留や渋滞を防止するため、開場から年度末までの間の暫定的措置として、六街区の千客万来施設用地を市場関係者の臨時駐車場として整備しております。

今後も、業界団体と調整しながら、駐車場の有効活用を図ってまいります。

○**小林委員** 今後の利用状況をしっかりと注視しながら、ともかく業界団体の方、利用者の声をよく聞いて、実効的な取り組みがなされるようお願いをしたいと思います。

また、先ほど、ひぐち理事の方からもお話がございましたが、バス停の屋根の問題につきましても、私もお声をいただいております。ある利用者の方からは、公共交通で買い出しに行った際、雨が降っていたが、買い出した商品で両手がいっぱいの状態だったそうですが、市場内のバス停に屋根がないため、大変にご苦勞されたというお声もありました。

先ほど質問がなされておりますので、重複いたしますので割愛をいたしますが、先ほどのご答弁の中でも、総合的に検討していくというお話がございました。

前向きな答弁というふうに捉えておりますので、ぜひとも、この点のご検討も引き続きお願いをしたいと思います。こうしたことを初め、今後も豊洲市場を軌道に乗せて、真に使い勝手を向上させるためにも、今後も必要な施設の改善はしっかりと進めていくべきであります。見解をお伺いいたします。

○**渡辺施設担当部長** 円滑な市場運営を実現するためには、豊洲市場の使い勝手を継続的に向上させていく必要がございます。

豊洲市場の施設については、業界から幾つかの要望をいただいております。必要な改善を図ることとしております。例えば、ターレの充電施設につきましては、業界からさらなる増設の要望があることから、今後、充実させる予定としております。

また、水産卸売り場棟の三階、四階におきましては、産地車両等の搬入のみならず、売買参加者などの搬出車両も利用することとなったことから、多様な車両の実情に即し、大型トラックを想定した大型の車どめを撤去することとしております。

今後も、業界と意見交換しながら必要な施設の改善を図り、豊洲市場の使い勝手の向上に努めてまいります。

○**小林委員** 次に、見学者、来場者への対応についてお伺いします。

これも、私の地元の居酒屋を営む方からご意見をいただいたことではございますが、開場後、仕入れに行った際に、仲卸売り場に一般の方が入ってきてしまい、買い出しに来ている業者の方の円滑な買い出しに支障があったとのお話がありました。

こうした仲卸売り場に一般の方が入ってしまい業務への支障が生じた事態に対し、都としてどのように改善を図ってきたのか、お伺いいたします。

○**堀豊洲市場事業推進担当部長** 今、副委員長、お話ありました一般の利用者が仲卸店舗に入ってしまうと、こうした事態でございますが、一般利用を開始いたしました初日でございます十月十三日に起きてしまいました。こうした事態が再び生じないよう、直ちに場内の案内や警備体制を強化しているところでございます。

具体的に申し上げますと、エレベーターやエスカレーターなど業務のエリアに間違っ入りやすい場所、これがございます。立入禁止のサインや警備員の配置を徹底するとともに、一般の方のお問い合わせ状況もいろいろありますので、よく聞かせていただいて、それを踏まえまして、より円滑に見学いただけますよう、見学者通路の案内サイン、これをわかりやすく充実しているところでございます。

○小林委員 ありがとうございます。開場直後は、テレビでも豊洲市場のにぎわいの状況が数多く報道され、多くの方々の注目が集まっておりましたが、これまでどのくらいの人数の方が来られたのか、また、こうした一般の利用者をお迎えするために、都としてどのような取り組みを行っているのか確認をいたします。

○堀豊洲市場事業推進担当部長 一般の方の来場者数でございますけれども、先ほど申し上げました利用初日である十月十三日は一万人を超える方が来場されまして、その後も多くの方にご来場いただいているところでございます。

都は、多くの方々に豊洲市場の持つさまざまな魅力や機能を発信するため、ハード、ソフトの両面からさまざまな工夫を行っております。

具体的に申し上げますと、取引の様子を見学できる通路やデッキを整備するほか、市場の仕組みや機能を紹介するPRコーナーを整備してございます。

また、豊洲市場開場以前からの歴史や実物のターレの展示を行いまして、多言語による説明表示を充実させるなど、さまざまな来場者に楽しんでいただける取り組みをしているところでございます。

今後とも、多くの方々に豊洲市場を楽しんでいただきながら、市場の施設や機能を深く理解いただけますように、しっかりと取り組んでまいります。

○小林委員 ありがとうございます。今後は、安全・安心の取り組みを着実に推進しつつ、国内外に、豊洲市場を訪れたくなるような魅力をいかに発信していくかが大切であると思います。

先日、午後の時間帯に豊洲市場を訪れた方より、PR コーナーを見学しようと思って午後二時過ぎに行ったそうですけれども、既に終わってしまっていたと。もう少し対応する時間を検討してもらいたいとの声もありましたので、業界団体などとも協議の上、ご検討いただければというふうに思います。

また、築地市場では毎年、築地市場まつりが開催され、大変多くの来場者が訪れておりましたが、豊洲市場においても、今後そうしたイベントも検討されていくことと思います。国内外の人が心待ちにするような取り組みをお願いしたいと思いますが、そうした中で一つ、個人的に思っているのが、夜の市場祭りというものを検討してはどうかと思っております。

東京の観光において、今後、夜の観光をどう充実させていくかが大切な課題であります。豊洲を初めとする臨海地域は非常に夜景がきれいな場所でもあります。おいしい食を堪能しつつ、美しい夜景も満喫するということは、豊洲という立地の利点を最大に生かした魅力ではないかと思えます。

もちろん、さまざまな課題もあろうかと思いますが、簡単なことではないかと思いますが、ぜひとも今後、豊洲市場の魅力を発信する一つとして、夜の市場祭りというような企画も一考していただい

ればと思いますし、また山崎副委員長にもご指導いただければというふうに思いますので、よろしく願いいたします。

以上で私の質問を終わらせていただきます。ありがとうございました。